

# ミヤマチョウジザクラ

*Cerasus apetala* (Siebold et Zucc.) Ohle ex H. Ohba var. *apetala*  
バラ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

本県を分布限界とし、生育地、個体数とも少ないと考えられるがカテゴリーを決めるには情報が不足している。

## 分布

長野県、滋賀県、福井県、富山県に限定的に分布する。県内では南越前町、越前町、大野市で確認される。

## 種の特徴

花の少ない早春を飾る美しい桜。萼片は卵状三角形で全縁。萼筒にまばらに毛があり、花はオクチョウジザクラに比べて小さい。密腺は葉柄上部につく。毛は裏面葉脈上に多い。

## 生育を脅かす要因

森林伐採が生育を脅かす。

参考文献 福井県植物研究会（1999）、福井県樹木誌（2011）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市	
							○	○									○	

# オオウラジロノキ

*Malus tschonoskii* (Maxim.) C.K. Schneid.  
バラ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地、個体数とも少ないと考えられるがカテゴリーを決めるには現在の情報が不足している。

## 分布

本州～九州に分布する。県内ではおおい町、小浜市、若狭町、美浜町、敦賀市、南越前町、越前市、勝山市、大野市で確認される。

## 種の特徴

山地のやや乾いた尾根等に生育する。樹高は10～15m。新枝は黄緑色で綿毛が密生し、成長すると無毛となり赤褐色、皮目ができる。托葉は線形。葉は互生し、葉身は楕円形、卵形または広卵形で、先端はとがる。花期は5月。花は白色、稀に淡紅色。

## 生育を脅かす要因

森林伐採が生育を脅かす。

参考文献 福井県植物研究会（2001）、福井県樹木誌（2011）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○	○	○		○				○			○	○	

# ミツモトソウ

*Potentilla cryptotaeniae* Maxim.  
バラ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地は限られ、個体数も少ないと推定されるが、カテゴリーを決めるだけの情報が不足している。

## 分布

北海道～九州に分布する。県内では大野市で確認される。

## 種の特徴

低地～山地の草地等に生える多年生草本。茎の高さは50～100cm。全体に毛が多い。葉は3個の小葉からなり、狭卵形で先が尖り、長さ3～5cm、縁に鋸歯がある。茎の先に多数の花をつける。花期は7～9月。花色は白色。

## 生育を脅かす要因

草地開発、自然遷移の進行が生育を脅かす。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	